

報告日 令和7年9月19日					
報告回次 3日目					
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	武豊町			代表者名	鳥羽 悠史
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画部企画政策課	連絡先電話番号	0569-72-1111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	井筒 健太	連絡先E-mail	
住所	470-2392 愛知県武豊町字長尾山2番地				
1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進計画の策定		
概要	令和7年度中に策定するDX推進計画の内容や推進体制等について、外部アドバイザーから内部職員のみでは気付きにくい客観的・専門的な目線からの意見を踏まえたものとしたい。あわせてDX推進担当の意識醸成を図り、計画が実行できる体制としたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 計画策定支援				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月19日	フォローアップ(オンライン)	13時00分	15時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	上村 州史				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX推進計画案の内容や、手続きのオンライン化やDXを推進するために必要な庁内での活動について、実体験を交えながらお話し頂いた。特に文書管理システムや電子決裁システムを活用した際の業務や、庁内広報の重要性について参考になるご意見を伺えた。				
アドバイザーへの要望事項	今回のアドバイスにより、DX推進計画案がより具体化できた。また機会があれば、ぜひサポートをお願いしたい。				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数		6人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	6			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DX推進計画を策定するにあたり、庁内全体においてDXへの理解や意識が十分に醸成されておらず、全庁を巻き込んだ計画の推進ができないという懸念がある。また計画に記載する体制整備や取組内容について、実際に運用が可能か不安がある。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DX推進計画案に対し、外部の専門的視点から内容、体制、進め方について助言をいただきたい。助言をもとに修正したDX推進計画案を庁内各課へ展開する。その際にDX推進計画への意見出しや各課の調整を行うDX推進委員（20名予定）に対し、DX推進計画を踏まえたDX研修を行っていただきたい。その後、現場の意見を反映したうえで最終案を作成し、改めてアドバイザーにフォローアップいただき、より実効性の高い計画へと仕上げたい。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーに来庁いただき、DX推進委員等に対しDXを推進するにあたり必要となるDXの基礎知識(デザイン思考の重要性)や、地方公務員としての業務改革の実例(キャッシュレスを導入した際に、科目を分けて調定していたもとを統一させた)を交えた研修を行っていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXを推進するにあたり、新たにDX推進委員となった職員には、DXに関する基礎知識の習得や業務改革への意識向上が求められていた。今回の研修では、公務員としての立場からどのようにDXを進めるべきかについて具体的に説明があり、参加者にとって親しみやすく、理解を深める内容となった。また、疑問点はウェブアプリ(slide)を通じて随時受け付け、講師がその場で回答したため、参加者の不安が解消されるだけでなく、DXへの前向きな意識が醸成されたと感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	フォローアップを受けて修正したDX推進計画を委員や幹部の承認のうえ、策定まで進めていく。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の支援でDX推進計画案へのフォローアップが完了した。アドバイスの内容をもとに修正を行い策定まで進める。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。)	
	アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の支援は助言のみであるため、アンケートは実施していない。	
4ー3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
	DX推進計画を策定する。	
4ー4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進計画の期間は令和8年4月～令和13年3月としており、その期間中に職員にDXの意識と取組が定着することで、効率的な行政運営と住民満足度の向上を実現し、地域全体の幸福につなげることを目指す。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		